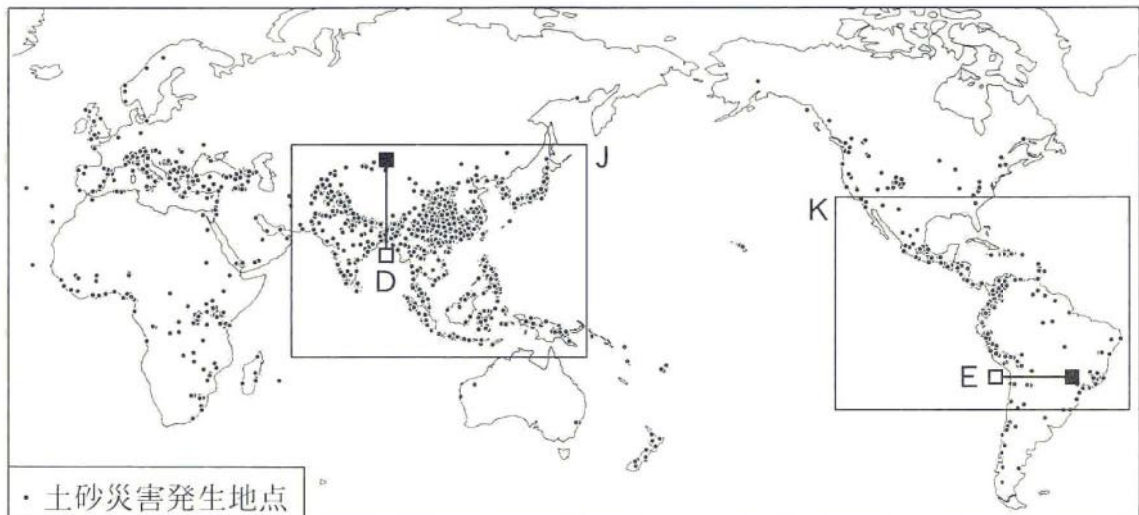


# 地 理 B

(解答番号  ~ )

**第1問** 世界の自然環境と災害に関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 20)

A マキさんたちは、2005～2014年に報告された土砂災害発生地点を、次の図1のようにまとめ、世界で発生している土砂災害についてクラスで探究することになった。世界の土砂災害と人間活動に関する下の問い(問1～3)に答えよ。

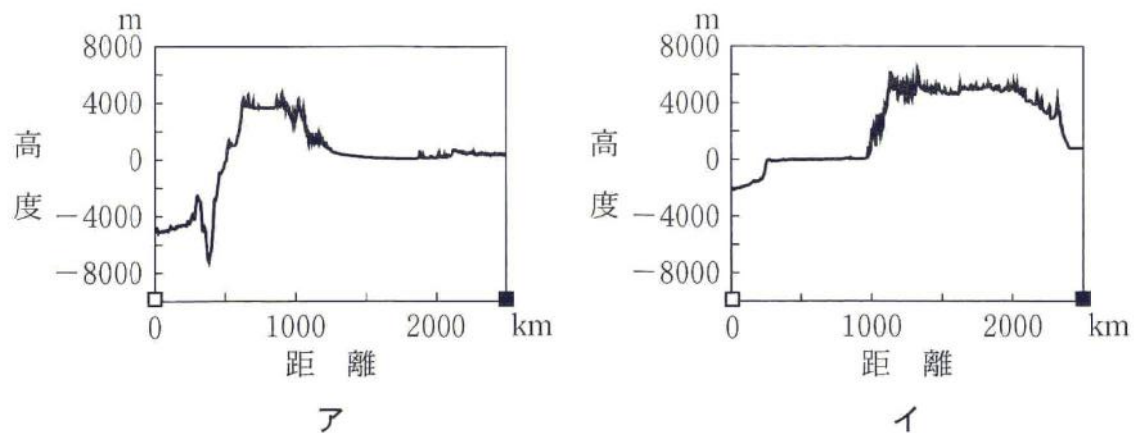


Froude and Petley (2018)により作成。

図 1

## 地理B

問1 マキさんたちは、図1から「土砂災害を発生させる要因は山脈の地形的特徴にあるのではないか」という仮説を立て、世界の山脈について調べることにした。次の図2中のアとイは、図1中の線DとEのいずれかに沿った地形断面である。また、下の文GとHは、図1中の線DとEのいずれかが横断する山脈について述べたものである。図1中の線Dに該当する図と文との組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 1



NOAAの資料により作成。

図 2

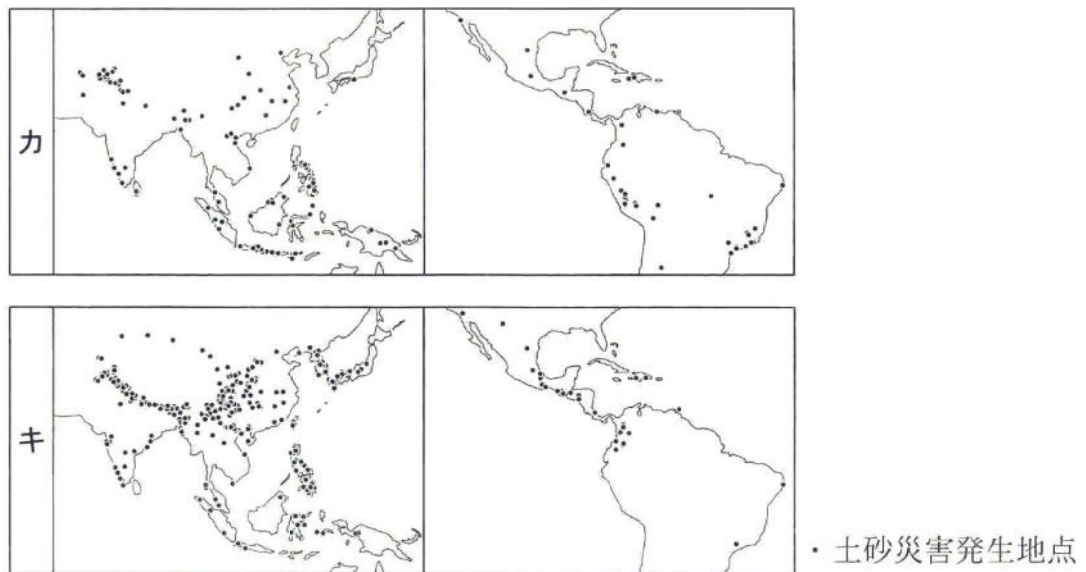
G 海洋プレートが沈み込む変動帯にあり、火山が多い。

H 大陸プレートどうしが衝突する変動帯にあり、<sup>しゅうきよく</sup>褶曲や断層が多い。

	①	②	③	④
図	ア	ア	イ	イ
文	G	H	G	H

## 地理B

問 2 マキさんたちは、降雨と土砂災害との関係について考察するために、いくつかの地域における月別の土砂災害発生地点の違いを調べた。次の図3中のカとキは、図1中のJとKの範囲における、1月と7月のいずれかの土砂災害発生地点を示したものである。図3をもとに話し合った、下の会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。 2

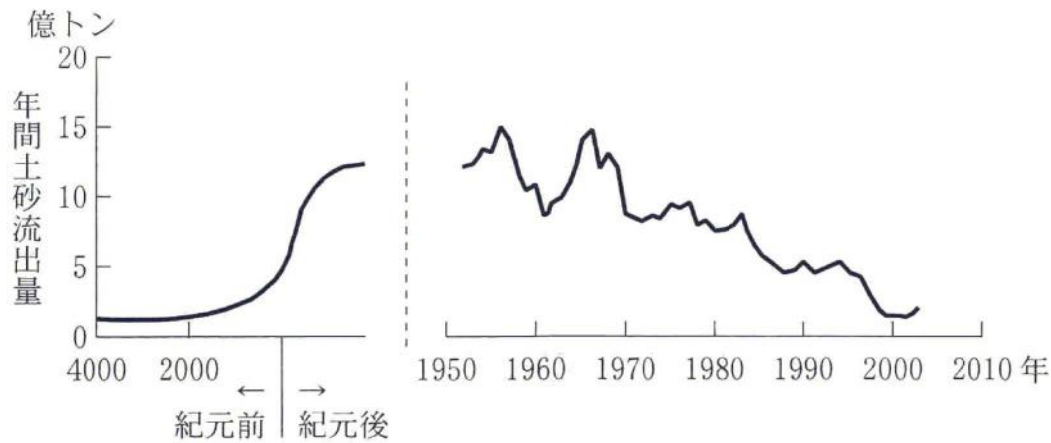


統計年次は2005～2014年。Froude and Petley (2018)により作成。

図 3

- マ キ 「アジアでは、カカの時期に土砂災害が少ないようだね。南アジアに①北西から季節風(モンスーン)が吹き寄せて、乾季になる時期だね」
- チナツ 「ペルー付近は、カカの時期に土砂災害が多発する傾向にあるよ。キキの時期よりも②熱帯収束帯(赤道低圧帯)が南に位置して、降水量が増える時期だね」
- マ キ 「キキの時期は、日本で土砂災害が多発しているね。この時期の日本は、③海上から吹く暖かく湿った風の影響を受けているね」
- チナツ 「中央アメリカでキキの時期に土砂災害が多いのは、④熱帯低気圧の襲来も影響しているようだよ」

問 3 マキさんたちは、土砂災害が多発している東アジアにおける人間の営みと土砂の流出との関係について調べることにした。先生から提示された次の図4は、黄河から海への土砂流出量の変化を示したものである。図4で示された土砂流出量の変化について、その背景と影響をマキさんたちがまとめた下のカード①～④のうちから、**適当でないものを一つ選べ。** 3



Wang et al. (2007)により作成。

図 4

紀元後に黄河流域における人間活動が活発化し、土砂流出量の増加をもたらした。

①

1960年代半ば以降に土砂流出量の減少傾向が続き、海岸侵食のリスクが増大した。

②

黄河流域における水力発電需要の増加が、土砂の流出を促進した。

③

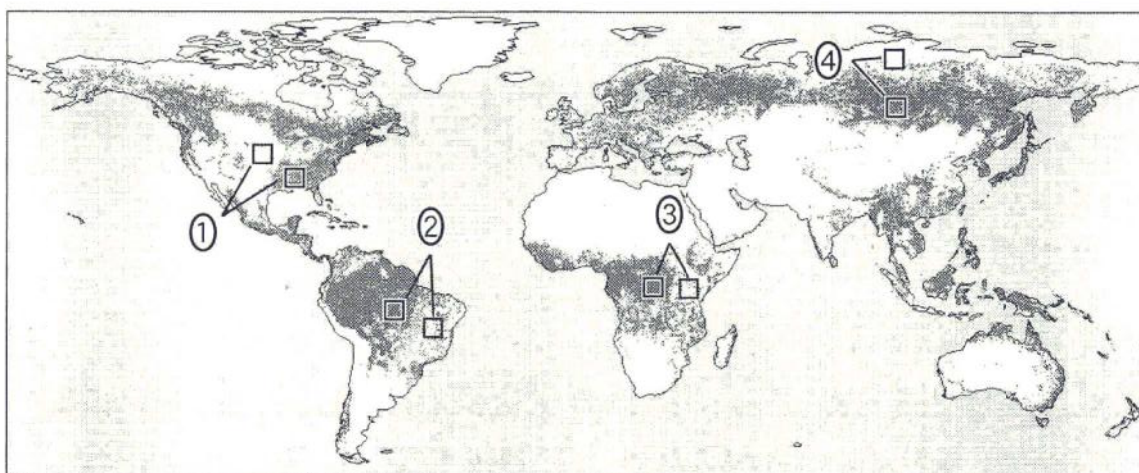
黄土高原における植林などの土壌保全が、土砂の流出を抑制した。

④

## 地理B

B 高校生のフミさんたちは、国の研究所の研究者から地球規模の森林の分布とそれらの特徴、森林における災害についての特別授業を受けた。世界の森林に関する次の問い(問4～6)に答えよ。

問4 最初に、研究者は人工衛星の観測から得られた世界の森林分布を示し、その特徴について考えてみよう<sup>まほ</sup>と提案した。フミさんたちは、次の図5のように森林が密な地域と疎<sup>まほ</sup>らな地域の組合せを、4つの大陸から一つずつ選び出して話し合った。下の会話の条件に当てはまる地域の組合せとして最も適当なものを、図5中の①～④のうちから一つ選べ。 4



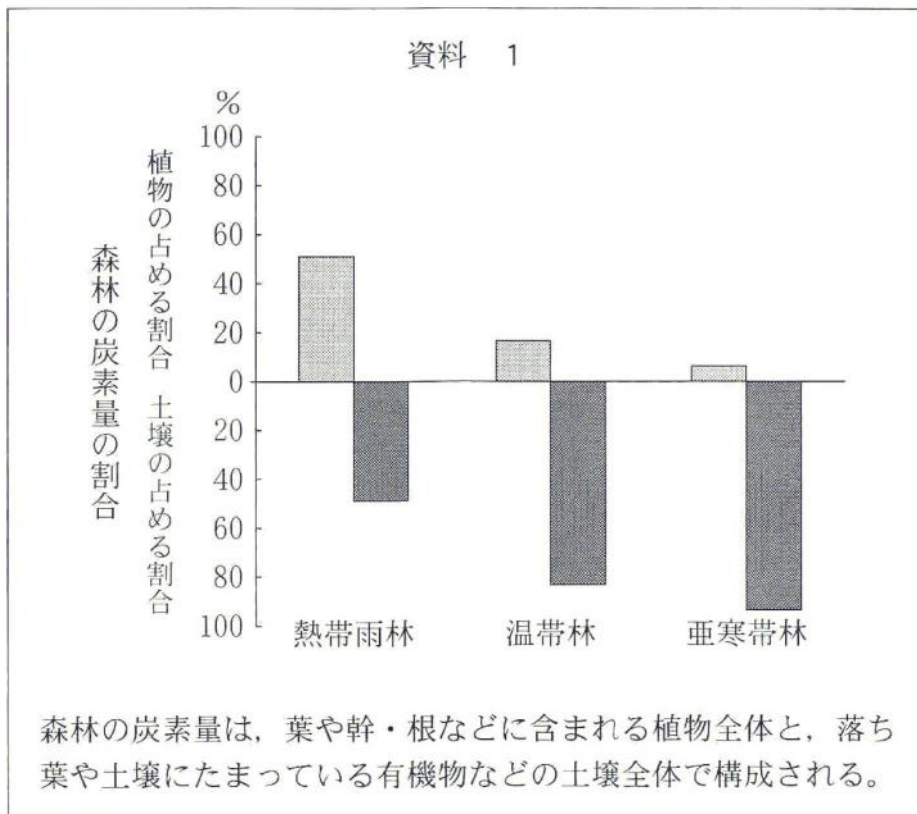
点は森林の分布を示す。JAXAの資料により作成。

図 5

- フ ミ 「地図帳を見ると、森林が密な地域よりも、疎<sup>まほ</sup>らな地域は標高が低いようだね」
- ユ ウ 「森林が密な地域と疎<sup>まほ</sup>らな地域の年降水量を比べると、この4つの組合せの中で最も差が小さいようだよ」
- サ キ 「森林が疎<sup>まほ</sup>らな地域よりも、密な地域の方が年平均気温は高いね。そのことが、この地域において、森林が密か疎<sup>まほ</sup>らかの違いの主な要因となっているようだね」

問 5 次に、研究員は、世界の森林のうち、熱帯雨林、温帯林、亜寒帯林を対象に森林の違いを考えてみようとして提案した。次の資料1は、世界全体におけるそれぞれの森林の炭素量を、植物と土壌が占める割合に分けて研究員が示したものである。資料1をもとに、森林の特徴についてフミさんたちがまとめた文として下線部が最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

5

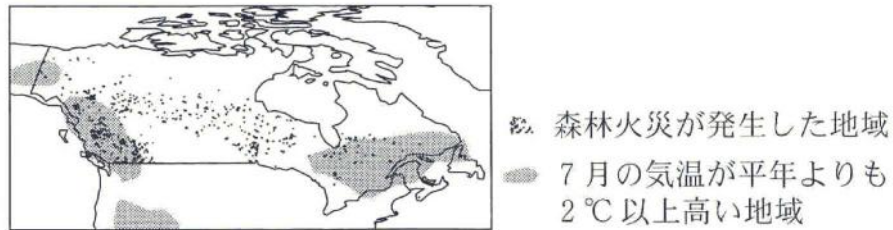


USDA の資料などにより作成。

- ① 熱帯雨林の土壌の炭素量の割合が最も小さいのは、主に落ち葉などの分解が速いためと考えられる。
- ② 温帯林の植物の炭素量の割合が熱帯雨林に比べて小さいのは、近年の人為的な開発の影響を強く受けているためと考えられる。
- ③ 亜寒帯林の植物の炭素量の割合が最も小さいのは、主に降水量が少ないことによって成長が制限されているためと考えられる。
- ④ 植物と土壌の炭素量の割合を比較すると、緯度が低い地域の森林ほど、有機物を含む土壌層が厚く、樹木の成長がよいと考えられる。

## 地理B

問 6 最後に、研究員とフミさんたちは、世界の森林で起きる災害の一つとして、カナダの森林火災を取り上げ、次の図6と下の写真1を見ながら話合った。次ページの会話文中の空欄PとQに当てはまる語句と文との組合せとして最も適当なものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 6



Natural Resources Canada の資料などにより作成。

図 6

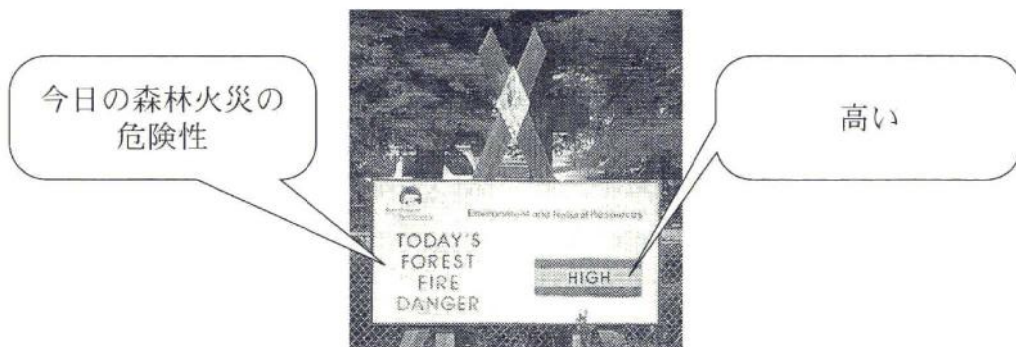


写真 1

## 地理B

研究員 「森林面積が広いカナダでは、森林火災が大きな災害の一つです。図6は、2018年に森林火災が発生した地域と7月の気温が平年よりも2℃以上高い地域を重ねて示したものです」

フ ミ 「気温が平年よりも高い地域で火災が多いようですが、そうではない地域でも火災がみられますね」

研究員 「森林火災が発生したり、拡大したりする要因として、気温の高さ以外にどのようなことが考えられますか」

サ キ 「森林火災の発生や拡大には、( P )も影響していると思います」

研究員 「そうですね。現地では写真1のような表示で森林火災の危険性が予報されています。これらの図や写真から、火災の危険性を予報する意味を考えてみましょう」

フ ミ 「この地域の森林では、( Q )だと思います」

研究員 「皆さん、しっかりと考察できましたね」

( P )に当てはまる語句

サ 雨がほとんど降っていない日数の多さ

シ 風が弱い日数の多さ

( Q )に当てはまる文

タ 落ち葉や土壌の表層も燃えて広がりやすいため、消火が困難になる危険性を知らせる必要があるから

チ 焼畑をしていると燃え広がりやすくなるため、農業従事者に危険性を知らせる必要があるから

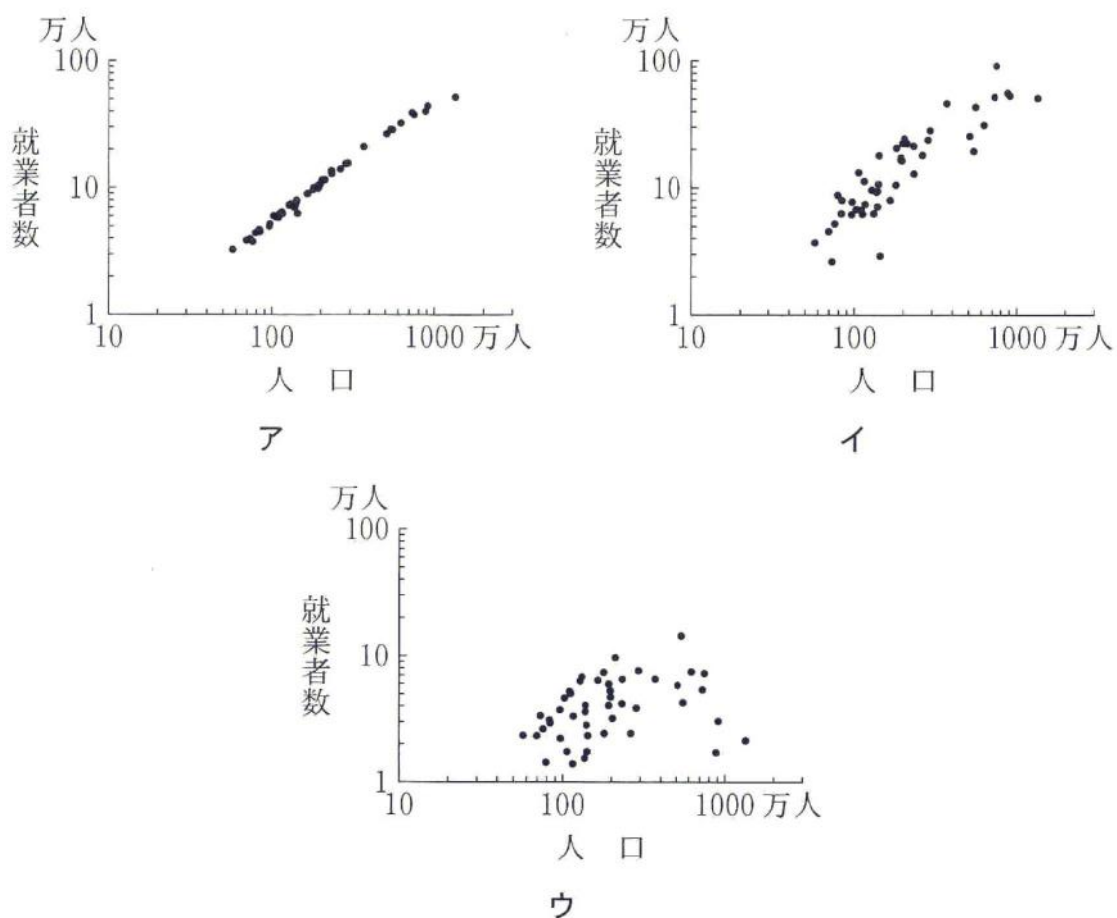
	①	②	③	④
P	サ	サ	シ	シ
Q	タ	チ	タ	チ



## 地理 B

### 第 2 問 産業と貿易に関する次の問い(問 1 ~ 6)に答えよ。(配点 20)

問 1 産業の立地と地域の人口は深く結びついているが、その関係は産業の特性によって異なる。次の図 1 は、都道府県の人口と産業別就業者数を示したものであり、ア～ウは、農林業、製造業、小売業のいずれかである。産業とア～ウとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 7



統計年次は 2015 年。国勢調査により作成。

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
農林業	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
製造業	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
小売業	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

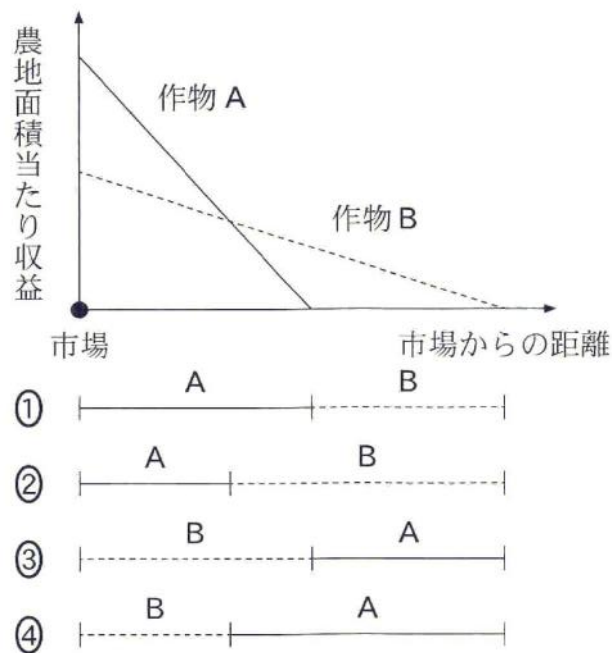
問 2 農業の立地には、地域の自然条件のほか、市場からの距離が重要な要因となる。市場からの距離と農業地域の形成を説明した仮想のモデルに関する次の条件と下の説明文を読んで、空欄カに当てはまるものを、下の図2中の①～④のうちから一つ選べ。 8

条 件

- ・市場が一つだけ存在する。
- ・自然条件はどこも同じで、生産にかかる費用は一定である。
- ・作物を市場へ運ぶ輸送費は距離に比例する。
- ・農地面積当たり収益は、作物の販売価格から生産にかかる費用と輸送費を引いて求める。

説明文

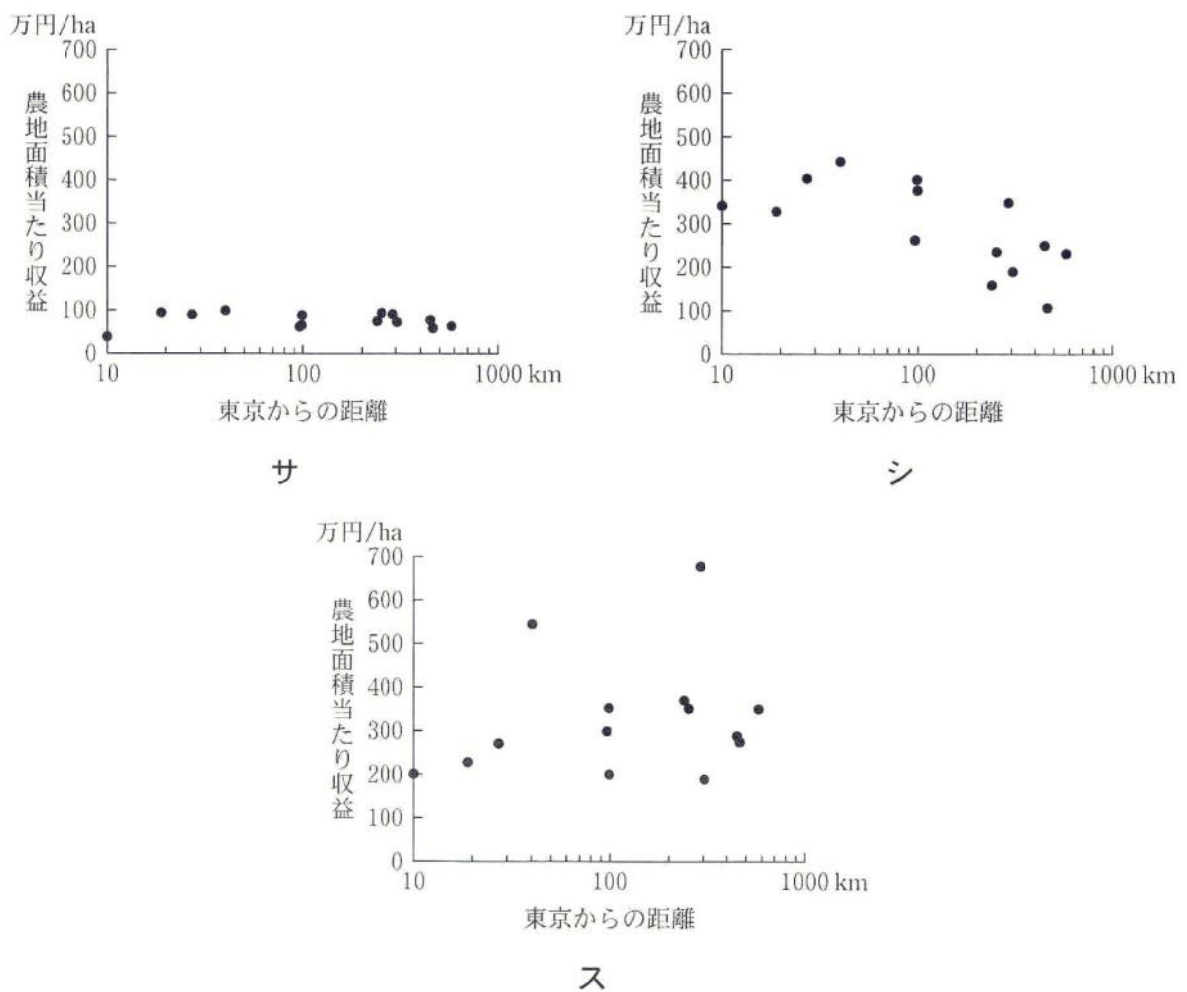
図2は、横軸に市場からの距離を、縦軸に作物別に見込める農地面積当たり収益を示したものである。作物Aは作物Bより輸送費が多くかかるが、市場での販売価格は高い。より収益の高い作物が選択されるならば、横軸の線上で生産される作物の分布は( カ )のようになる。



## 地理 B

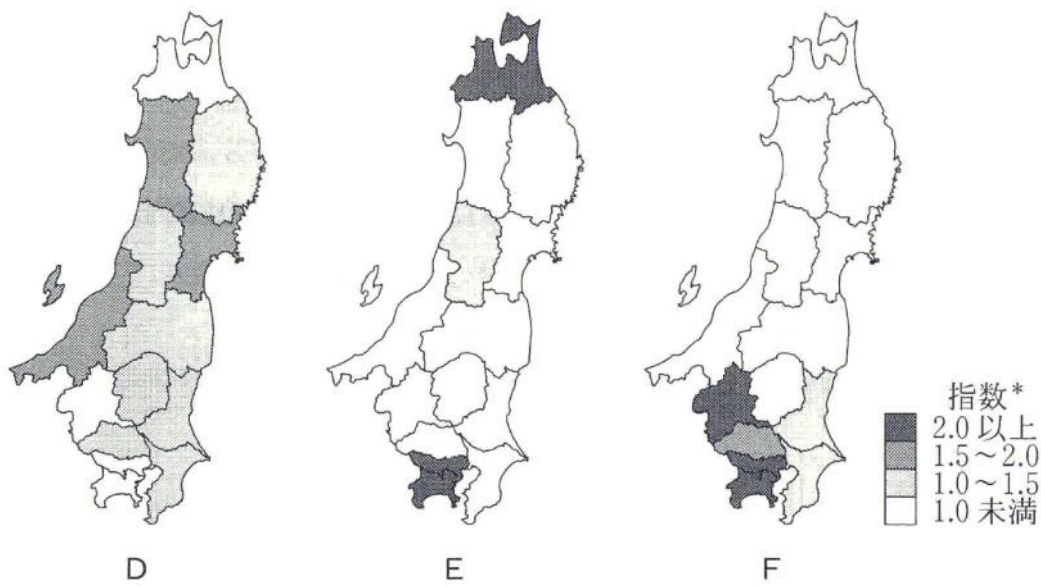
問 3 農業の立地には市場からの距離に加え様々な要因が作用する。次の図 3 中のサ～スは、米、野菜、果樹のいずれかについて、東日本の 14 都県における、東京からの距離と農地面積当たり収益の推計値\*を示したものである。また、次ページの図 4 中の D～F は、田、畑、樹園地のいずれかについて、その 14 都県の農地面積の構成比を指数で示したものである。野菜と畑との正しい組合せを、次ページの①～⑨のうちから一つ選べ。 9

\*農地面積当たり収益は、作物別農業産出額を田、畑、樹園地の面積で割った値。



東京からの距離は各県庁所在地までの直線距離で、東京都は 10 km とした。  
 野菜の産出額は野菜・豆・いもの合計。  
 統計年次は 2017 年。『生産農業所得統計』などにより作成。

図 3



\*各都県の農地面積に占める田，畑，樹園地の構成比を，それぞれ全国の構成比で割ったもの。

統計年次は2017年。『作物統計調査』により作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
野菜	サ	サ	サ	シ	シ	シ	ス	ス	ス
畑	D	E	F	D	E	F	D	E	F

問 4 次の①～④の文は，世界各地の産業の立地について述べたものである。このうち，市場からの距離の近さが立地に強く影響している例として最も適当なものを，①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① アメリカ合衆国のシアトルには，航空機組立産業が立地している。
- ② イタリアのフィレンツェには，付加価値の高い繊維産業が立地している。
- ③ インドのバンガロールには，英語対応のコールセンターが立地している。
- ④ 東京には，出版や印刷に関する産業が立地している。

## 地理 B

問 5 2 国間で行われる貿易は、各国の資源や産業構造の影響を受ける。次の表 1 は、いくつかの国について、1 人当たり GDP(国内総生産)と輸出依存度\*をもとに 4 つに分類したものであり、J ~ L は、シンガポール、ベトナム、カナダのいずれかである。また、下のタ ~ ツは、日本が J ~ L のいずれかの国から輸入する主要な品目である。J ~ L とタ ~ ツとの正しい組合せを、下の① ~ ⑥のうちから一つ選べ。 11

\*輸出額を GDP で割った値。

表 1

		輸出依存度	
		50 % 未満	50 % 以上
1 人当たり GDP	2 万ドル未満	インドネシア	J
	2 万ドル以上	K	L

統計年次は 2016 年。『世界国勢図会』により作成。

タ 機械類(集積回路など)や医薬品

チ 機械類(電気機器など)や衣類

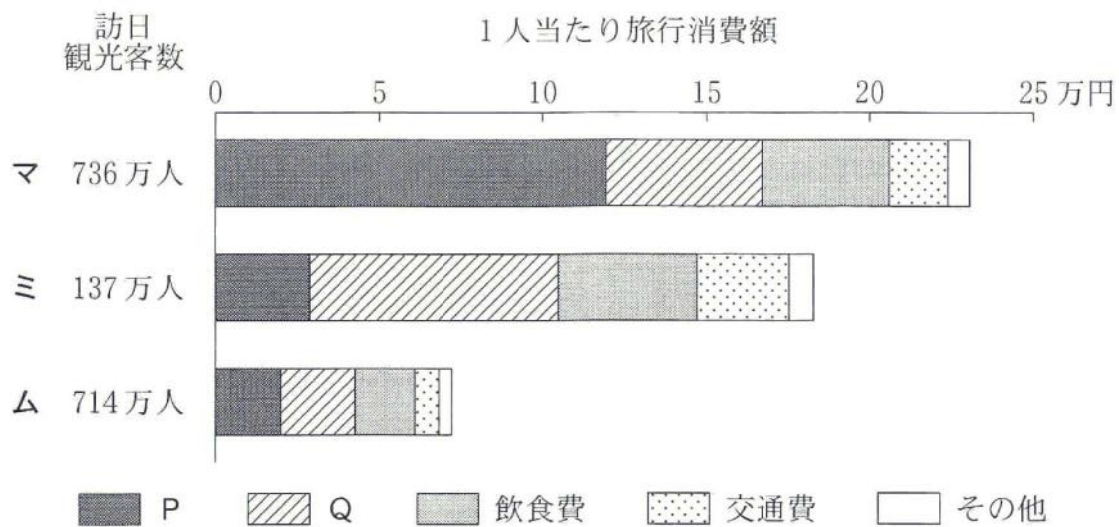
ツ 石炭や肉類

	①	②	③	④	⑤	⑥
J	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
K	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
L	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

地理B

問 6 次の図5は、ある3か国の2017年における訪日観光客数と、1人当たり旅行消費額およびその内訳を示したものであり、マ~ムは、アメリカ合衆国，韓国，中国\*のいずれかである。また，図5中の凡例PとQは，買い物代と宿泊費のいずれかである。アメリカ合衆国と買い物代との正しい組合せを，下の①~⑥のうちから一つ選べ。 12

\*台湾，ホンコン，マカオを含まない。



統計年次は2017年。観光庁の資料により作成。

図 5

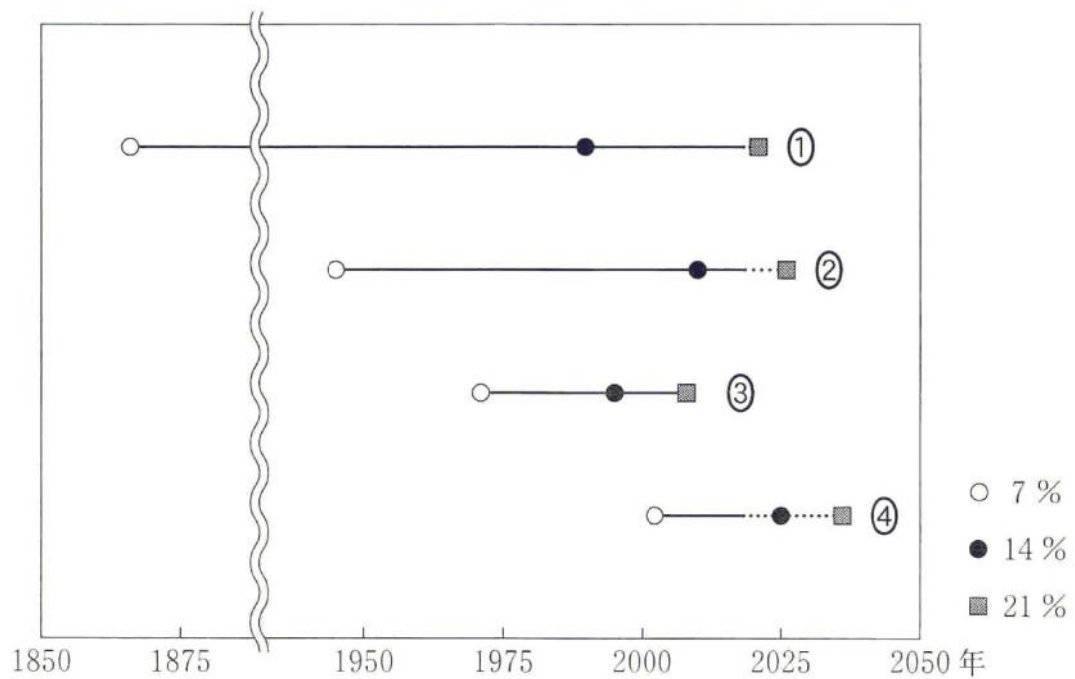
	①	②	③	④	⑤	⑥
アメリカ合衆国	マ	マ	ニ	ニ	ム	ム
買い物代	P	Q	P	Q	P	Q

## 地理B

### 第3問 人口と村落・都市に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 次の図1は、いくつかの国について、老年人口率が7%、14%、21%に達した年、または達すると予測されている年を示したものであり、①～④は、カナダ、中国\*、日本、フランスのいずれかである。カナダに該当するものを、図1中の①～④のうちから一つ選べ。 13

\*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

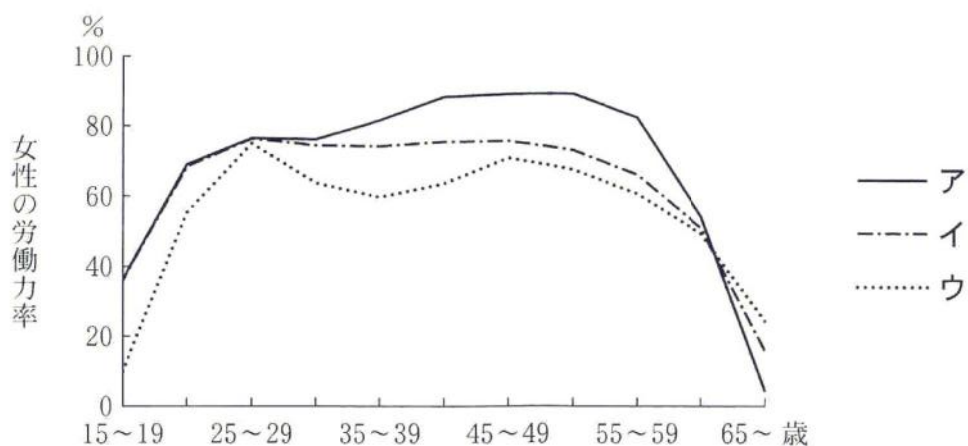


図中の点線は予測を示す。World Population Prospects などにより作成。

図 1

問 2 次の図 2 は、いくつかの国における女性の労働力率を年齢階級別に示したものであり、凡例ア～ウは、アメリカ合衆国、韓国、フィンランドのいずれかである。国名とア～ウとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

14



アメリカ合衆国の 15～19 歳は 16～19 歳の値。  
統計年次は 2017 年。『世界の統計』により作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
アメリカ合衆国	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
韓国	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
フィンランド	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア



## 地理B

問 3 次の写真1は、ある集落の景観を撮影したものである。下の文カとキのいずれかは、写真1のような形態の集落が分布する地域について述べたものであり、文aとbのいずれかは、このような形態の利点を説明したものである。写真1のような形態の集落に該当する文の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15



Google マップにより作成。

写真 1

### 分布する地域

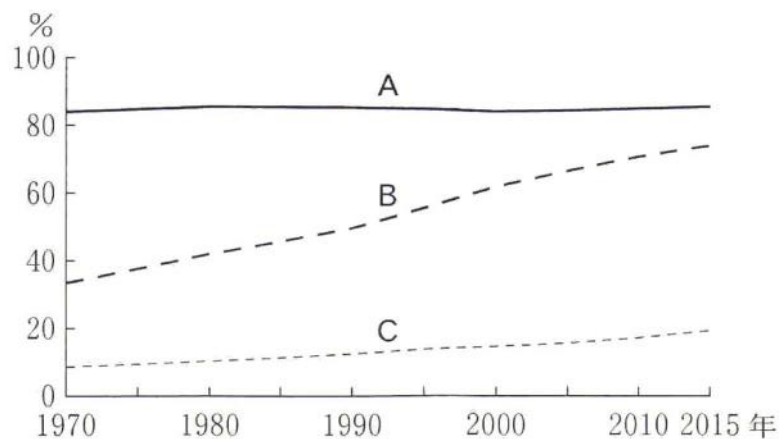
- カ 開発の歴史が新しく、村落が計画的につくられた地域
- キ 平野部で農業生産性が高く、外敵への備えが必要であった地域

### 形態の利点

- a 各農家の近くに耕地が集まっており、耕作や収穫の利便性が高い。
- b 教会や広場があり、農業や社会生活などで共同作業を行いやすい。

	①	②	③	④
分布する地域	カ	カ	キ	キ
形態の利点	a	b	a	b

問 4 次の図 3 は、ある三つの国 A～C における都市人口率の推移を示したものであり、下の文サ～スは、A～C のいずれかの国における社会・経済的な状況について述べたものである。A～C とサ～スとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 16



World Urbanization Prospects により作成。

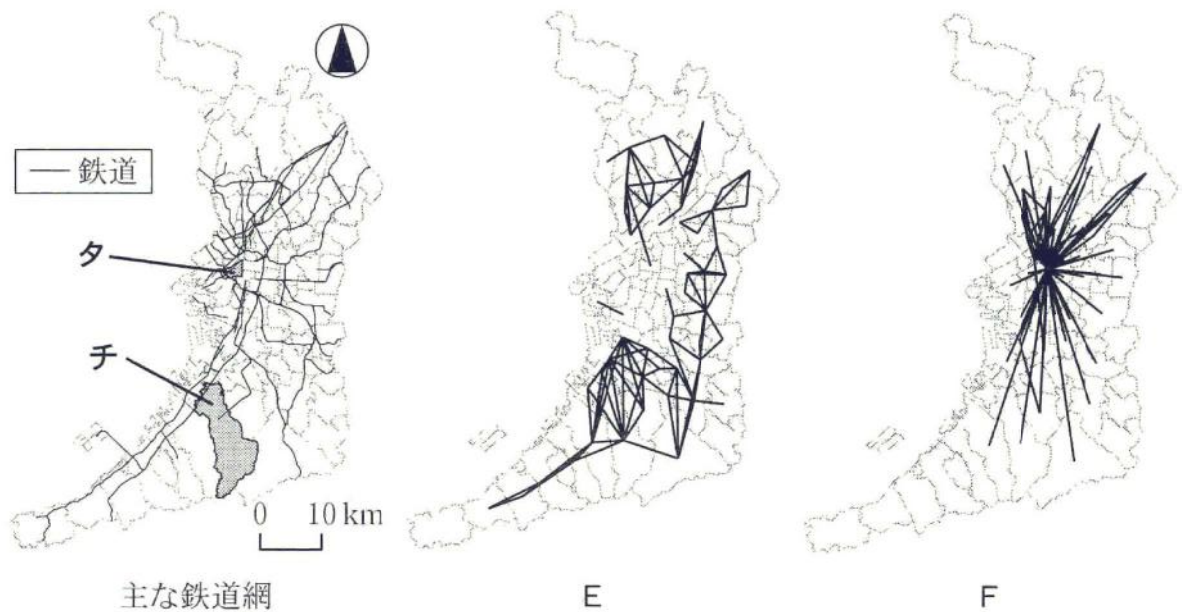
図 3

- サ 植民地支配のもとで多数のプランテーションが開発されたものの、ルックイースト政策などにより外国資本の導入が進み、工業化の進展が著しい。
- シ 長期的な植民地支配を受けることはなかったものの、モノカルチャー経済の傾向が残っており、近年でも最大の輸出品目はコーヒー豆である。
- ス 鉄鉱石・石炭などの鉱産資源や農畜産物の輸出額が大きいものの、脱工業化が進み、就業人口に占める第3次産業就業者の割合が高い。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	サ	サ	シ	シ	ス	ス
B	シ	ス	サ	ス	サ	シ
C	ス	シ	ス	サ	シ	サ

## 地理B

問 5 次の図4は、ある大都市における主な鉄道網と、いくつかの移動手段について、出勤目的の移動者数が多い地区間を線で結んだものであり、EとFは、自動車と鉄道のいずれかである。また、下の文章は、図4から読み取れることから述べたものであり、空欄Xには、図4中の地区タとチのいずれかが当てはまる。自動車に該当する図と空欄Xに当てはまる地区との正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 17



地区間の移動者数が、自動車は500人以上、鉄道は2,000人以上を示した。統計年次は2010年。国土数値情報などにより作成。

図 4

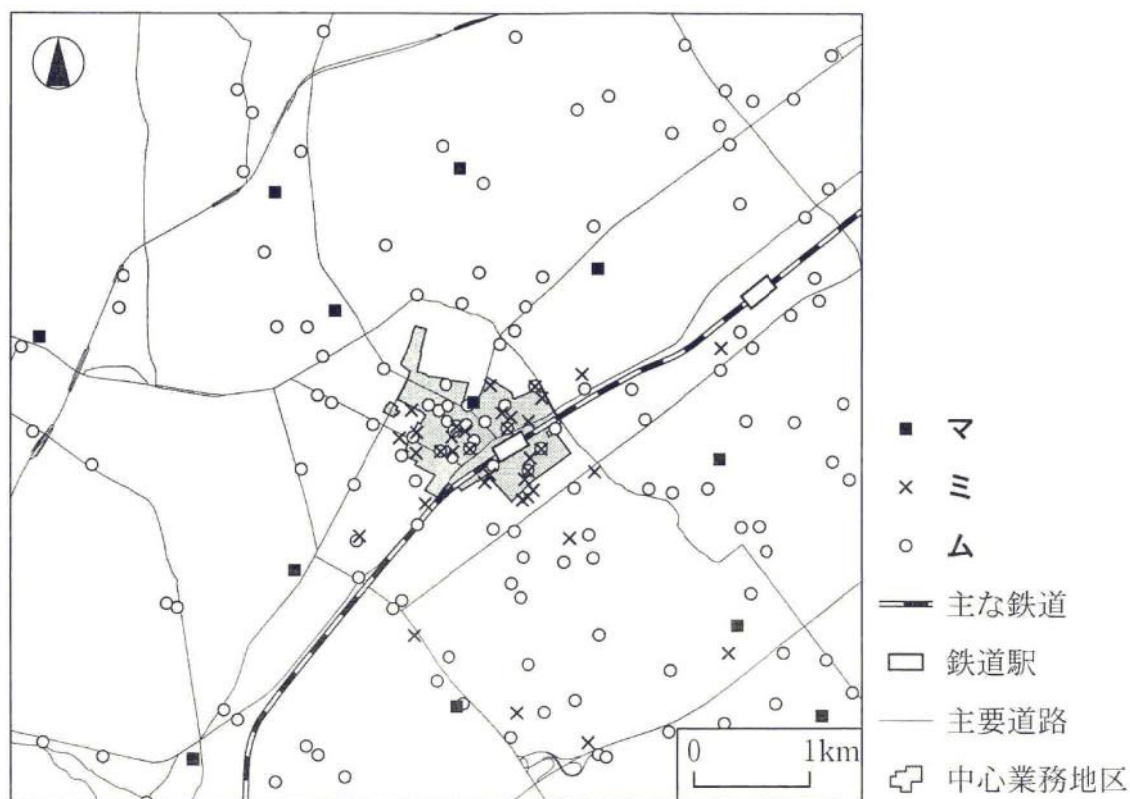
大都市では、道路網や鉄道網の発達により、都市内部の人口分布は昼間と夜間で大きく異なる。夜間人口100人に対する昼間人口を示す昼夜間人口指数について、図4中の地区タとチを比べると、( X )の方が大きな値を示す。

- ① E—タ      ② E—チ      ③ F—タ      ④ F—チ

## 地理B

問 6 次の図5は、日本のある県庁所在都市の中心部におけるいくつかの施設の立地を示したものであり、凡例マ～ムは、公立中学校、コンビニエンスストア、ビジネスホテルのいずれかである。施設名とマ～ムとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

18



総務省の資料などにより作成。

図 5

	①	②	③	④	⑤	⑥
公立中学校	マ	マ	ミ	ミ	ム	ム
コンビニエンスストア	ミ	ム	マ	ム	マ	ミ
ビジネスホテル	ム	ミ	ム	マ	ミ	マ

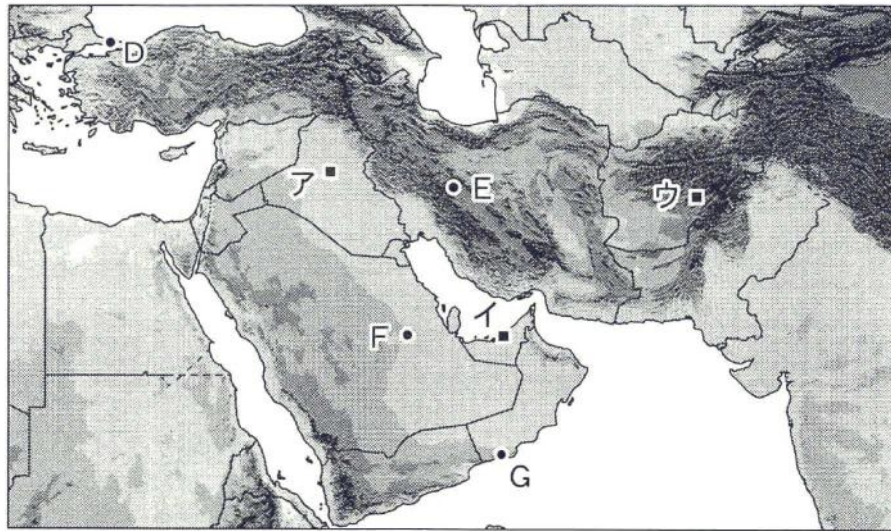
## 地理B

### 第4問 西アジアに関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 20)

A 西アジアの自然環境や社会経済に関する次の問い(問1～4)に答えよ。

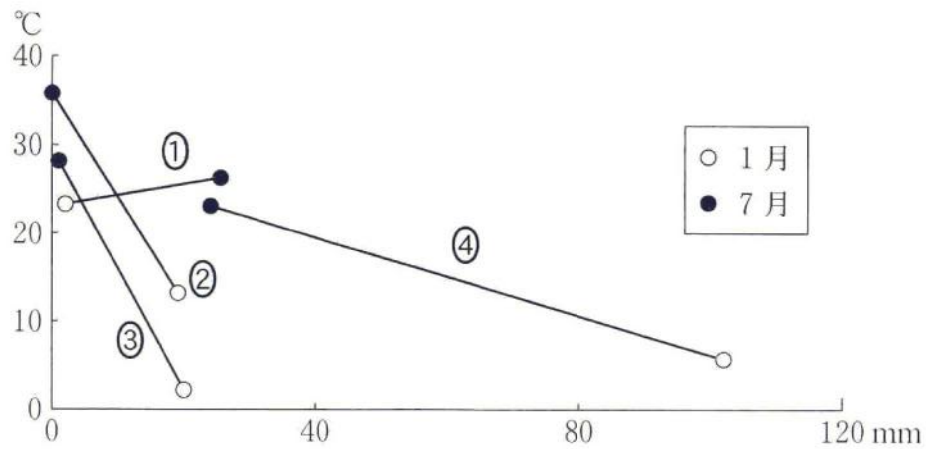
問1 次の図1は、西アジアの地形を示したものであり、下の図2は、図1中のD～Gのいずれかの地点における1月と7月の月平均気温および月降水量を示したものである。Fに該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。

19



色の濃い部分ほど標高の高い地域を示し、陰影を付けている。

図 1

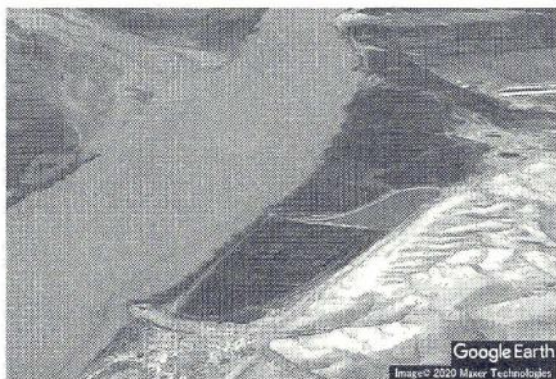


気象庁の資料などにより作成。

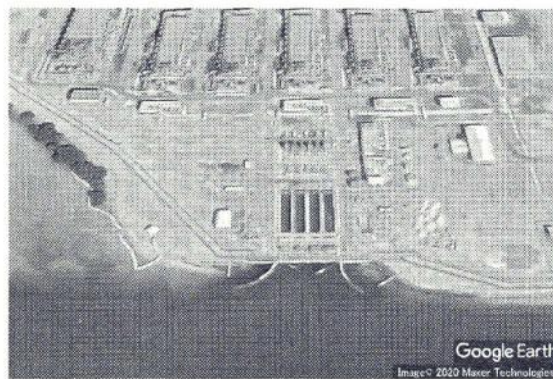
図 2

地理 B

問 2 次の写真 1 中の J～L は、図 1 中のア～ウのいずれかの地点における水資源の確保に関する景観を撮影したものである。J～L とア～ウとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20



J 外来河川



K 淡水化施設



L 地下水路

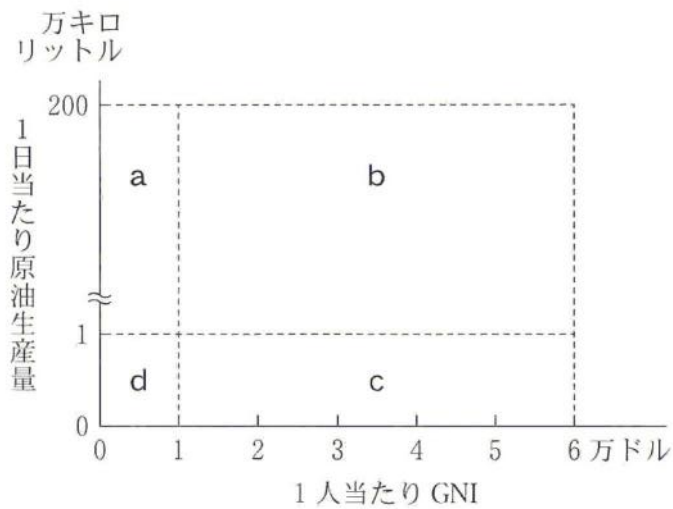
Google Earth により作成。

写真 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
J	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
K	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
L	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

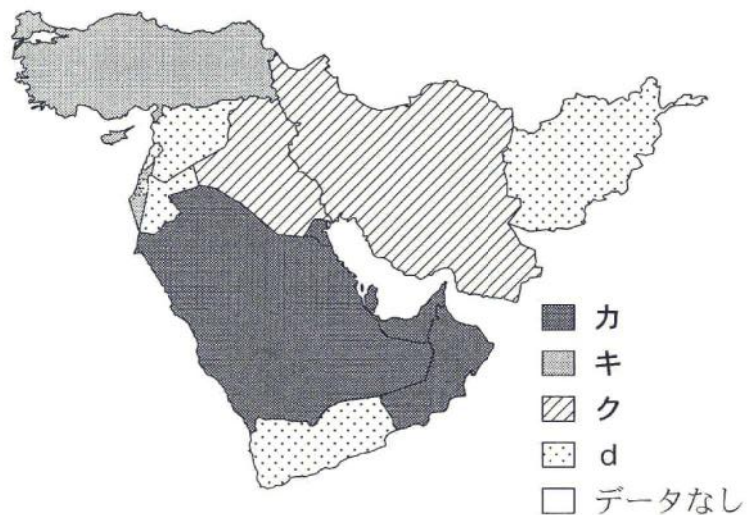
## 地理B

問 3 次の図3は、1人当たりGNI(国民総所得)と1日当たり原油生産量によって西アジアの国々をa～dの4つのグループに分けたものであり、下の図4は、各グループの分布を示したものである。図4中の凡例カ～クは、図3中のa～cのいずれかである。a～cとカ～クとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 21



統計年次は2016年。『世界国勢図会』などにより作成。

図 3



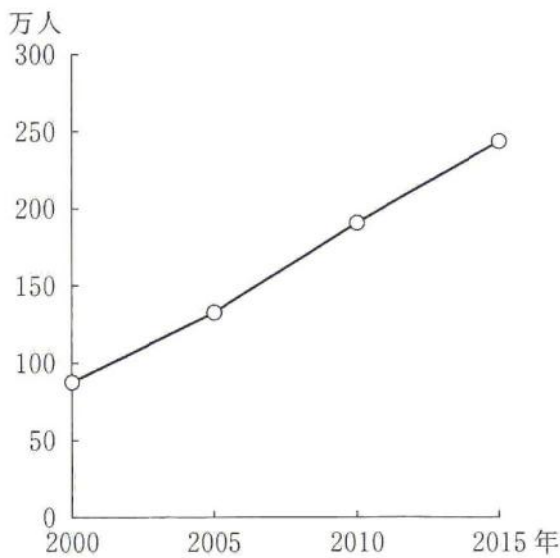
統計年次は2016年。『世界国勢図会』などにより作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
a	カ	カ	キ	キ	ク	ク
b	キ	ク	カ	ク	カ	キ
c	ク	キ	ク	カ	キ	カ

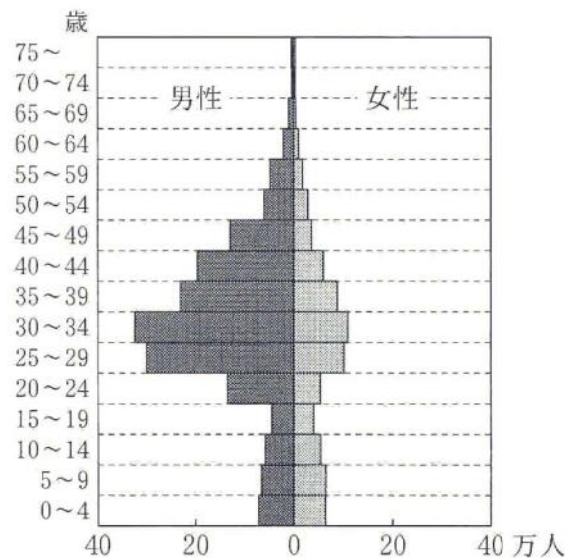
問 4 次の図5は、アラブ首長国連邦のドバイにおける人口の推移を示したものであり、図6は、2015年のドバイにおける人口ピラミッドを示したものである。図5と図6から読みとれる、2000年以降のドバイの人口増加に寄与している要因として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

22



Dubai Statistics Centerの資料により作成。

図 5



Dubai Statistics Centerの資料により作成。

図 6

- ① イスラーム(イスラム教)の聖地への外国からの巡礼
- ② 外国出身者における高い出生率
- ③ 建設工事の増加に伴う外国からの労働者の流入
- ④ 都市と農村の所得格差に伴う国内の人口移動



## 地理B

B 西アジアのトルコと北アフリカのモロッコは、ともに地中海に面し、ヨーロッパとの結びつきも強い。両国に関する次の問い(問5・6)に答えよ。

問5 次の表2は、いくつかの食料品について、トルコとモロッコの1人当たり年間供給量を示したものであり、PとQはナツメヤシと豚肉のいずれか、サとシはトルコとモロッコのいずれかである。ナツメヤシとモロッコとの正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 23

表 2

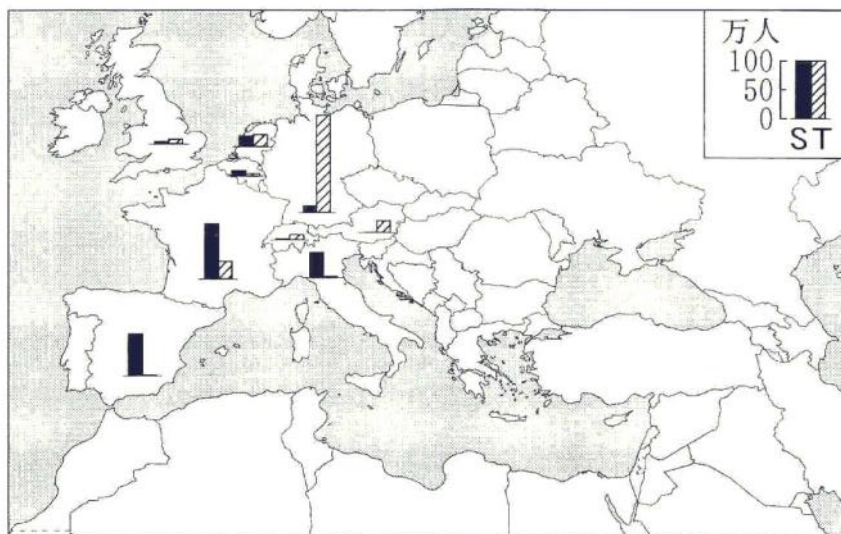
(単位：kg)

		1人当たり年間供給量	
		P	Q
国名	サ	0.01	0.64
	シ	0.01	2.88

統計年次は2013年。FAOSTATにより作成。

	①	②	③	④
ナツメヤシ	P	P	Q	Q
モロッコ	サ	シ	サ	シ

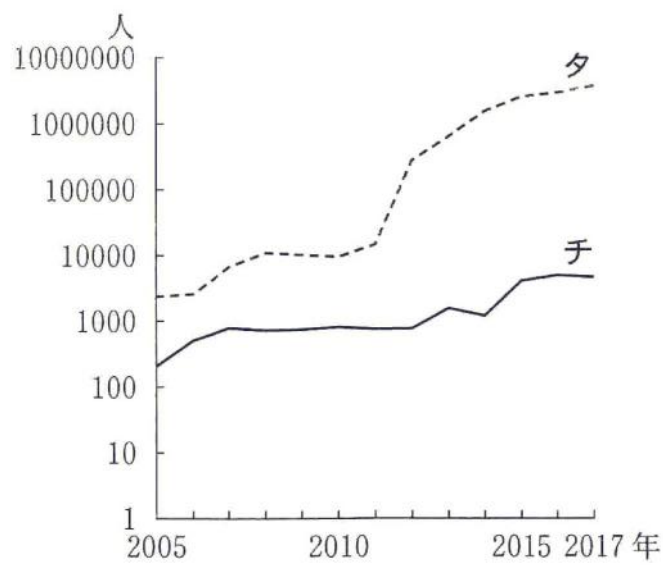
問6 人口の国際移動には、教育・雇用機会の獲得や紛争からの逃避など、様々な背景がある。次ページの図7中の凡例SとTは、ヨーロッパ各国に居住するトルコ人とモロッコ人の数のいずれかを示したものである。また、次ページの図8中のタとチは、トルコとモロッコのいずれかが受け入れている難民数の推移を示したものである。モロッコに該当する正しい組合せを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 24



ヨーロッパ各国のうち、居住するトルコ人とモロッコ人の合計が10万人以上の国を示した。

統計年次は2017年。UN Population Divisionの資料により作成。

図 7



UNHCRの資料により作成。

図 8

	①	②	③	④
ヨーロッパ各国に居住するモロッコ人の数	S	S	T	T
モロッコが受け入れている難民数	タ	チ	タ	チ

## 地理B

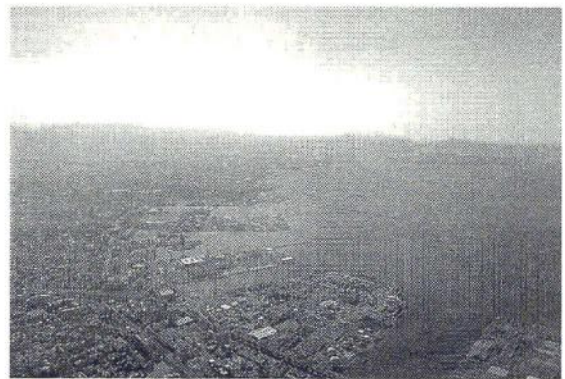
**第5問** 福岡市の高校に通うヨウジさんは、夏休みに関東地方から来た友人のユウタさんと一緒に福岡市とその周辺の地域調査を行った。この地域調査に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 ユウタさんは、福岡市付近の地形を確認するため、飛行機の中から写真を撮影した。次の写真1中のア～ウは、福岡市とその周辺を示した次ページの図1中のA～Cのいずれかの地点の上空から、矢印の方向の景観を撮影したものである。ア～ウとA～Cとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

25



ア

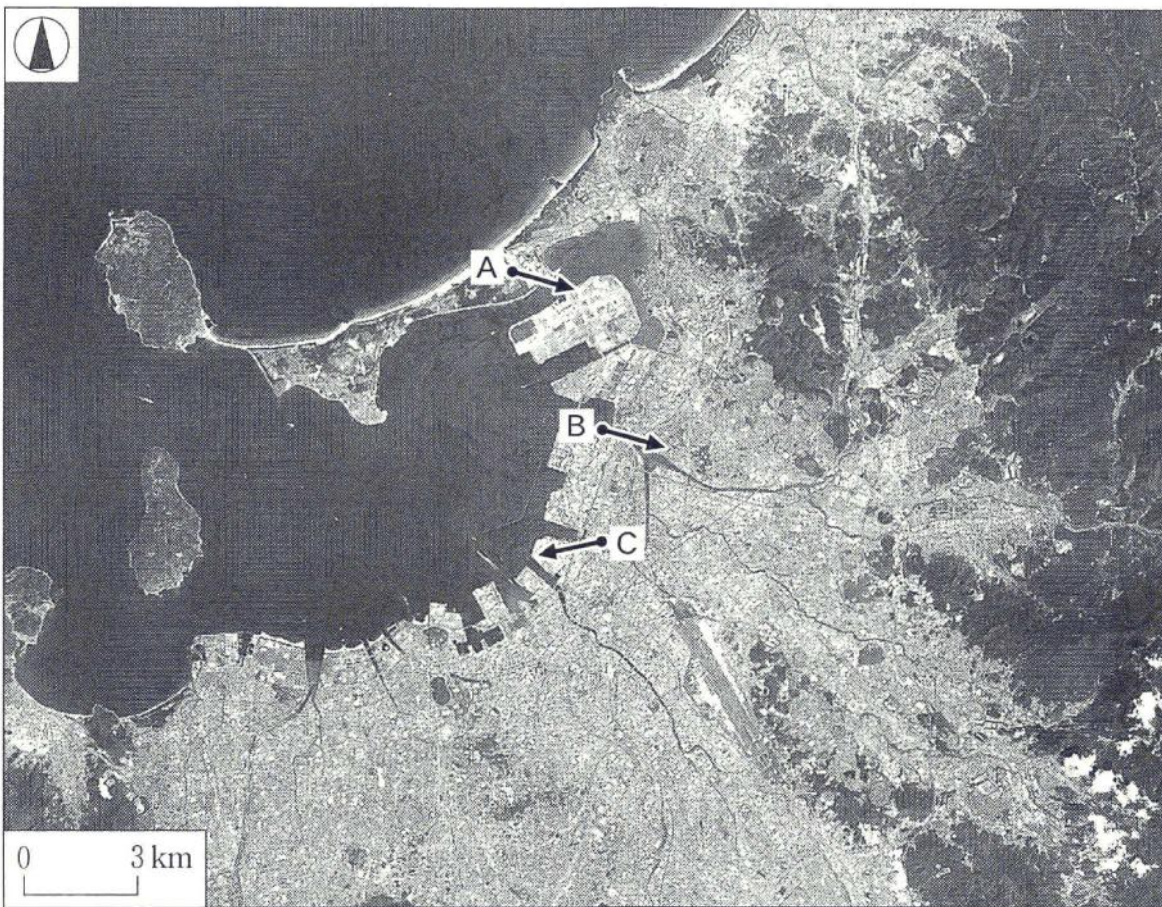


イ



ウ

写真 1



地理院地図により作成。

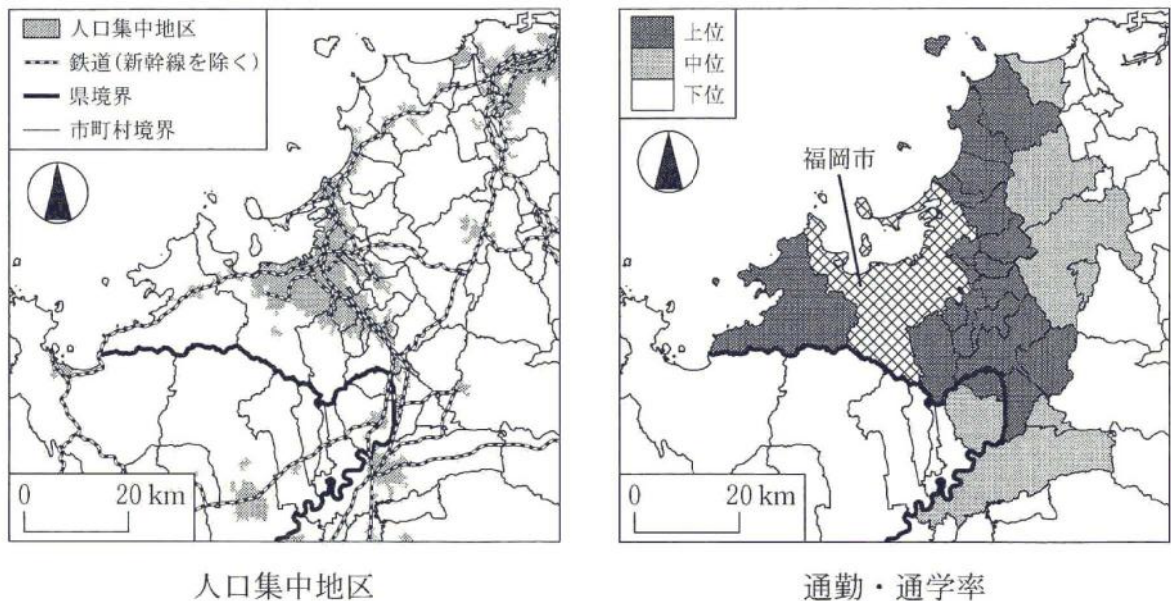
図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

## 地理B

問 2 ヨウジさんは、ユウタさんに福岡市の都市圏を説明するために、GIS(地理情報システム)を用いて主題図を作成した。次の図2は、人口集中地区\*の分布と福岡市への通勤・通学率を示したものである。図2に関連することがらを述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 26

\*国勢調査において人口密度が4,000人/km<sup>2</sup>以上、かつ隣接した地域の人口が5,000人以上を有する地域を指す。



統計年次は2015年。国勢調査などにより作成。

図 2

- ① 福岡市への通勤・通学率が上位の市町村には、学校や企業が福岡市よりも多く立地していると考えられる。
- ② 福岡市への通勤・通学率が上位の市町村は、福岡県外の福岡市に隣接した市町村にも広がっている。
- ③ 福岡市への通勤・通学率が中位の市町村には、人口集中地区はみられない。
- ④ 福岡市を含む人口集中地区の広がりから、鉄道沿線では住宅地などの開発が進んできたと考えられる。

## 地理B

問 3 福岡市の産業に関心を持ったヨウジさんたちは、市役所を訪問し、職員から詳しい話を聞いた。次の表1は、産業別の就業者数の上位3業種を示したものであり、EとFは全国と福岡市のいずれかである。また、下の会話文中の空欄カには、下の語句XとYのいずれかが当てはまる。福岡市に該当する記号とカに当てはまる語句との組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

27

表 1

順位	E	F
1位	製造業	卸売業・小売業
2位	卸売業・小売業	医療・福祉
3位	医療・福祉	その他サービス業*

\*産業大分類での名称は、サービス業(他に分類されないもの)である。  
統計年次は2015年。国勢調査により作成。

職員 「産業別の就業者数の順位を示した表1を見てください。福岡市と全国の就業者数の順位には違いがあります」

ヨウジ 「福岡市の産業にはどのような特徴がありますか」

職員 「福岡市は古くからの港町であり、現在も交通の拠点となっています。このため、広域に商品などを供給する大企業の支店が立地しています」

ユウタ 「そのような大企業の支店数を、九州地方の他都市と比較することで、福岡市の(カ)としての特性を推測できますね」

X 経済の中心地

Y 政治・行政の中心地

	①	②	③	④
福岡市	E	E	F	F
カ	X	Y	X	Y

## 地理B

問 4 ヨウジさんたちは、福岡市都心の始発駅から電車に乗り、景観の変化を調べてみた。次の写真2中のJ～Lは、ヨウジさんたちがいくつかの駅の周辺で景観を撮影したものである。また、次ページの表2中のサ～スは、J～Lの写真を撮影した地点を含む市区町村のいずれかにおける、2005年から2015年の人口増加率と老年人口増加率を示したものである。J～Lとサ～スとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 28



J 始発駅から数分で着く駅であり、新しいマンションが建ち並んでいた。



K 始発駅から30分ほどで着く駅であり、丘の上に古い戸建ての住宅が並んでいた。



L 始発駅から1時間ほどで着く駅であり、駅周辺に田畑が広がっていた。

表 2 (単位：%)

	人口増加率	老年人口増加率
サ	15.3	46.2
シ	-0.7	24.1
ス	3.6	49.0

統計年次は 2005～2015 年。  
 国勢調査により作成。

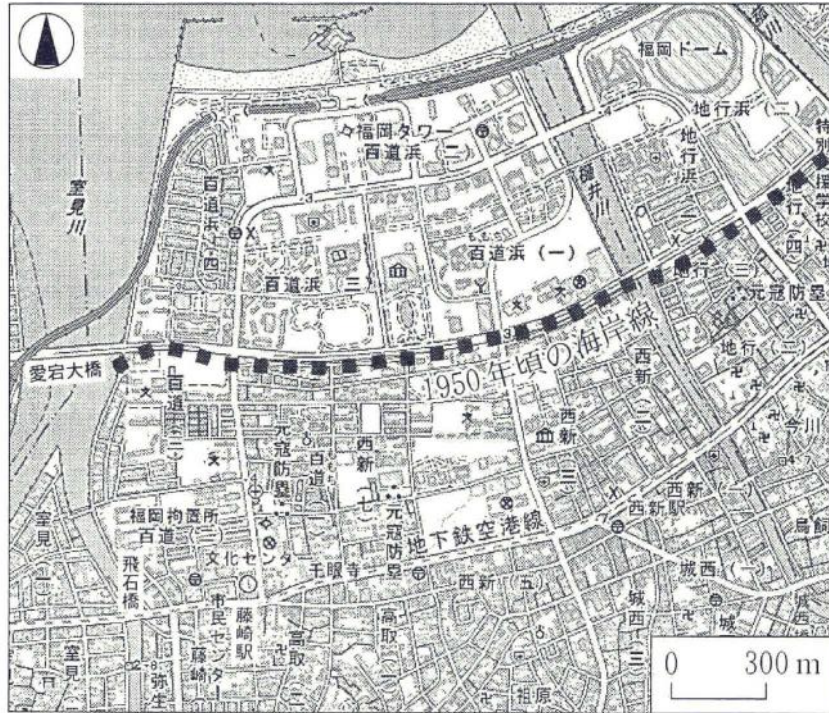
	①	②	③	④	⑤	⑥
J	サ	サ	シ	シ	ス	ス
K	シ	ス	サ	ス	サ	シ
L	ス	シ	ス	サ	シ	サ



## 地理B

問 5 福岡市の海岸線に埋立地が多いことに気が付いたヨウジさんたちは、地理院地図に1950年頃の海岸線を書き入れた次の図3を見ながら付近を歩いて、土地利用を観察した。ヨウジさんたちが話し合った下の会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

29

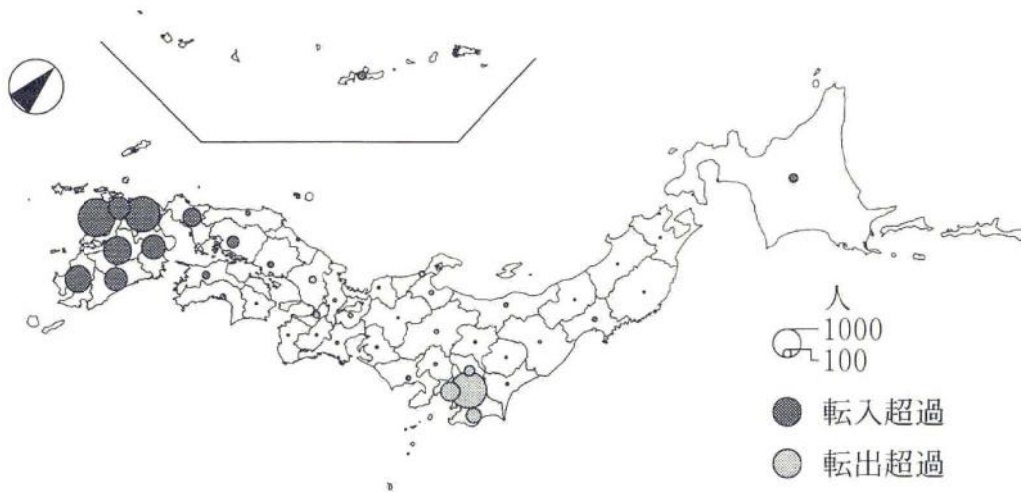


地理院地図により作成。

図 3

- ヨウジ 「<sup>ふじさきえき</sup>藤崎駅を出てすぐ<sup>げんこうぼうらい</sup>に元寇防塁があったね」
- ユウタ 「① 史跡や寺社は、古くから人々が住んでいたことを示していることが多いよ」
- ヨウジ 「<sup>あたごおほし</sup>愛宕大橋から<sup>とびいしほし</sup>飛石橋にかけては、河道がカーブしていたね。② 河道の形状は古くからの土地かどうかを判別する手掛かりになるよ」
- ユウタ 「<sup>ももちほま</sup>百道浜の方に歩いていくと整然とした住宅地が広がっていたね」
- ヨウジ 「建物の密度や区画の広さをみると、③ 埋立地では計画的な都市開発が行われてきたことが分かるよ」
- ユウタ 「④ 古くからの土地か埋立地なのかは、地図で公共施設や学校の有無を見ると判断できるよ」

問 6 福岡市での地域調査を通じて地方中心都市の役割に関心を持ったユウタさんは、福岡市からみた日本の人口移動について考えた。次の図 4 は、各都道府県から福岡市への転入者数の方が多い場合は転入超過とし、福岡市から各都道府県への転出者数の方が多い場合は転出超過として、その超過人数を示したものである。図 4 に関連することがらを述べた文として下線部が適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30



統計年次は 2018 年。『福岡市統計書』により作成。

図 4

- ① 九州地方の各県からの転入超過は、進学や就職をきっかけにした人口移動によると考えられる。
- ② 中国・四国地方のうち転入超過を示す地域は、人口の増加率が高いと考えられる。
- ③ 大阪圏や名古屋圏への転出超過や転入超過が少ないのは、転出者数と転入者数が均衡しているためと考えられる。
- ④ 東京圏への大幅な転出超過は、日本全体における人口の東京一極集中を反映していると考えられる。